



朝日子だより

吉田高校 進路指導部

H21.11.4 発行

社会人編 Vol.5

吉高生のみなさんへ

社会人の視点から、仕事内容や社会人として必要とされる資質について書きました。進路を考える際の参考になれば幸いです。

平成11年度 普通科卒業

東京税関 成田税関支署 勤務

宇都宮大学 農学部 生物生産学科 卒業



仕事内容は・・・



私の仕事は、主に薬物や拳銃の密輸取締りです。税関は、全国で9つに分かれています。管轄地域ごとに、東京、横浜、函館、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎、沖縄と分かれており、これら9つの各税関が、全国47都道府県の主として空港や港を管理しています。税関職員は、全国で約8,500名もいます。私はその中の東京税関に所属しているのです。

東京税関は、主に、成田空港と東京港湾地区をメインに、その他新潟や山形の港などを拠点としています。「税関」の仕事といっても一般の方にはあまり馴染みがないのでどんな仕事をしているのか知らない人もたくさんいると思いますが、税関は文字通り、「税金をとる」とことと「関所」の役割を担っています。

「税金をとる」といっても、「マルサの女」ではなく、海外からの輸入品に対して税金をとっています。海外からの輸入品にはほとんどの品物に「関税」という税金が掛けられています。そのため、輸入品は高価になってしまうのですね。(私の好きな洗濯柔軟剤「ダウニー」も、関税が掛けられているから値段が高いのですね。)

次に、「関所」の役割についてですが、「不正薬物や拳銃などが日本国内に入らないように、これらを密輸しようとする人を水際で発見し食い止める」ということです。密輸の方法は様々ですが、成田空港では、スーツケースの中、靴の中、お土産の中に隠し、一般の海外旅行者にまぎれて荷物の中に隠して持ってくるということが後を絶ちません。そこで、私たち税関職員が旅客のスーツケース等を検査し、密輸入を食い止めているのです。

海外旅行の経験がある人は、空港で必ず税関を通過していますが、ご存知でしたか？税関がどこにあるかと言うと、皆さんが海外旅行から帰ってきて、パスポートに入国印を押してもらった後、ターンテーブルからスーツケースを受け取る、そしてその直後に、青い制服を着たおじさん、お兄さん、綺麗なお姉さんにパスポートを渡す・・・、そう、この2度目にパスポートを渡す場所が税関です。私は以前、ここで働いていました。旅客が悪いもの(不正薬物、拳銃等)を隠して持ってきていないかどうかチェックするため、旅



客のスーツケースの中をその場で見せていただくという検査をしていました。(飛行機に乗る前に通る金属探知機のあるセキュリティチェックとは違います。)

個人的には、これまでに約1キロの覚せい剤を発見し摘発したことがあります。1キロといっても、なんと末端価格で約6千万円にもなるのです！成田空港は全国の空港の中でも一番摘発量が多く、とても忙しい部署ですが、その分誇りを感じます。税関全体では、毎年、大量の不正薬物などを摘発しています。税関の仕事内容は幅広いのでここでは紹介しきれませんが、詳しくは税関ホームページに掲載されています。



職場の様子

税関職員は、財務省関係の国家公務員です。福利厚生は整っています。福利厚生というのは、有給休暇や育児休暇の充実や、寮の設備などのことです。また、さまざまな研修制度も整っており、仕事柄、語学研修の機会はたくさんあります。語学を勉強している若手職員は多いです。



立地は、主に港や空港です。組織が大きいので、同期生もたくさんいます。(同期生は、学生でいえば同級生のようなもので、職場では後々も自分の支えとなってくれる大切な仲間です。職場は体育会系の規律が多少求められますが、そうでない人もいます。検査などの取締業務では、機敏且つ毅然とした態度が求められます。また、当直勤務もあるためか、「税関ファミリー」とも呼ばれ、職員同士の結び付きはとても強いと思います。ケニアで税関関係

の支援をしている同僚、財務省に勤務している同僚など、業務内容は幅広いです。

就職前と就職後の印象の差は・・・



就職してだいぶ経ちましたが、就職前から税関業務について、ネットや先輩方に聞いて調べていたので印象はあまり変わりません。自分の志望会社で働いている先輩がいたら、その人に職場の生の雰囲気を知ることが一番良いと思います。大学に関しても同様に、志望校の先輩に聞いてみると良いと思います。特に就職先については、身近な大人の見聞も聞きながら、事前に調べるのがとても大事だと思います。

学生と社会人の違いは・・・

学生は自由です。お金はないけれど、時間がたくさんあり、自分の好きなことを守られた身分の中でやれます。勉強、遊び、バイト、留学、旅行などお金が続く限り、何でもできます。社会人には自由な時間はあまりありませんが、お金があります。学生時代には持てなかった大金を手に入れます。ボーナスがでると、こんなに貰っていいのだろうかと思っても感じてしまいます。そして休日が待ち遠しくなります。大学を卒業するときは、友達と離れ、社会人になることがとても嫌で悲しく感じましたが、現在は苦労して働いたお金を得て、好きなところに旅行できるので楽しいです。学生時代の友達にもときどき会って、旅行したり、ランチしたりして楽しんでいます。



もちろん社会人は、雑用があったり、残業が多かったり、神経を使ったり、理不尽なことがあったり、嫌な業務もあったりとそれなりに苦勞もたくさんありますが、プライベートを充実させたりして公私混同しないように仕事は仕事と割り切ってやっています。仕事は常に人から評価されています。人から認められるように努力しないと、誰からも相手にしてもらえなくなってしまうと思います。私は仕事では、「気を使うより、頭を使う」を実行しています。

いま役に立っていると感じる高校時代の経験

高校時代の経験の中で、役立っていると感じるものは、受験勉強を乗り切ったことでしょうか。あれだけ勉強をして苦しかったのは、大学受験以来まだ経験していません。あの苦しさに比べたら、公務員試験も全然大変には感じませんでした。特に国家公務員の試験は努力が報われるものだと思います。また、挨拶、礼儀、マナーは社会人になっても大事なことです。吉高はその点とても良い校風だと感じるので、私も吉高生でよかったと思います。



最後に、大学受験生に向けて・・・

私は大学受験の際、ちょっとした鬱状態のような感じだったと思います。切羽詰った状況に弱いからだと思います。勉強量が半端ではなかったのでその量に耐えられず、途中から勉強に追いついていけませんでしたが、しかし、生物と英語だけは得意科目にしていました。そこで勉強した英語が今の仕事に生きています。私は第1志望の大学に合格したわけではありましたが、生物が好きで農学について勉強したかったのは変わらなかったもので、とても楽しい大学生活を過ごすことができました。進学希望の方で志望校を決める際は、学部や学科で選ぶのが良いと思います。



大学生活はとても楽しいです。受験から開放された日のことは今でも忘れられないくらい、パーと心が晴れました。そんな日は必ず来ます。合格したら、 をして、 をして、 をして・・・と心の中で考えながら、受験を乗り越えて下さい。私の大学生活は、ほぼ毎日友達と夜遅くまで遊んでいたりと、部活をしたり、夏休みに海外旅行したり、テストの前だけ一生懸命勉強したり・・・とあまり真面目ではありませんでした。最近になって、大学時代にもっと勉強していたらなと思うときもありますが、しかし、大学時代の遊びの中で学んだことは非常に大きかったと感じています。例えば、海外旅行の経験から、海外に興味を持つようになり、現在の仕事を見つけました。

やりたいことを思う存分やってきたからこそ、今、悔い無く働いています。私は人生の中で無駄なことは何もないと思っています。私が大学で学んだ農学についても、現在の税関業務に直結することは少ないのですが、他の人よりも科学的なものの見方ができると感じたりします。国家公務員の試験も、「農学」の採用枠で受験しました。私が税関職員になろうと思ったのは、国際情勢を常に意識した国際的な見方のできる国際人になりたかったのと、空港や港が好きでカッコいいなと思ったからです。

目標を持ち、そのために今自分は何をする必要があるのか、先のことを考えて行動できたら良いのではないのでしょうか。「やるときはやる」「ここぞというときには頑張る」ということが大事だと思います。辛いときもあるでしょうが、この先大学受験以上に辛いと感じることはあまりないと思いますので、健康第一で、悔いが残らない高校生活を送って下さい。卒業するときには、皆さんが笑顔で、お世話になった先生方やご両親に挨拶できる日が来るように願っています。

